

藤沢市立六会中学校

保護者ならびに関係者の皆様

藤沢市立六会中学校

校長 大石 由佳

2023（令和5）年度 学校評価の結果について

春寒の候、保護者ならびに関係者の皆様には、ますますご健勝のことと存じます。また、日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、学校評価の回答につきましては、お忙しい中ご協力いただきましてありがとうございます。結果について、次のとおりご報告させていただきます。

I アンケート調査の結果から

1…そう思う	2…ややそう思う	を合わせた数を肯定的な評価
3…あまり思わない	4…思わない	を合わせた数を否定的な評価

と解釈しています。また、数値は1年生～3年生の合計の値です。

1. 生徒の調査結果から観られる傾向として

(1) 生徒の意識として肯定的にとらえている割合が高い項目

- 人と思いやりを持って接し、家族や友人を大切にしている…………… 97.3%（2022年度 97.4%）
- 先生や友だちにあいさつしている…………… 95.4%（2022年度 96.6%）
- 学校行事(体育部門・文化部門・合唱部門・学年行事等)に積極的に参加できた…………… 94.0%（2022年度 94.7%）

(2) 生徒の意識として肯定的にとらえている割合が低い項目

- 学校は卒業後の進路について情報を知らせてくれる…………… 77.9%（2022年度 79.0%）

今年度の生徒全体の肯定的回答の割合は87.7%（2022年度 88.1%）で、昨年度と比較すると微減ながらほぼ変わらない割合となりました。項目別に見ると、「人と思いやりを持って接し、家族や友人を大切にしている」「先生や友だちにあいさつしている」「学校行事（体育部門・文化部門・合唱部門・学年行事等）に積極的に参加できた」は、継続して生徒のほとんどが肯定的に評価しています。また、「先生は授業をわかりやすく教えてくれる」「清掃に真面目に取り組んでいる」「地震や火災がおきたとき、どうしたらよいか知らされている」「部活動に積極的に取り組んでいる」「自分の学力は適切に評価されている」についても肯定的な回答が9割を超えました。特に、「地震や火災がおきたとき、どうしたらよいか知らされている」については、前年度より5.1%高い評価になりました。

一方、「学校は卒業後の進路について情報を知らせてくれる」について、昨年度に続き低い水準となりました。今後も、より一層学活や総合的な学習の時間、教育相談、進路だより等を通じて情報提供を心がけていくとともに、キャリア教育の充実に向けて取り組んでまいります。

2. 保護者の調査結果から観られる傾向として

(1) 保護者の意識として肯定的にとらえている割合が高い項目

- 学校はアフターコロナを踏まえて、授業や行事などを参観する機会を適切に計画している…………… 90.1%（2022年度 88.7%）
- 子どもは思いやりの心が育まれている…………… 88.4%（2022年度 89.3%）
- 学校は情報(便り・お知らせ・HP等)を発信している…………… 87.4%（2022年度 93.3%）

(2) 保護者の意識として肯定的にとらえている割合が低い項目

- | | | |
|---------------------------------|-------|----------------|
| ○学校は卒業後の進路について情報を知らせてくれる…………… | 50.3% | (2022年度 46.0%) |
| ○学校は子どもの悩みや問題に対し、適切に対応している…………… | 64.2% | (2022年度 67.1%) |
| ○学校は進路や生き方について学ぶ機会を設けている…………… | 64.9% | (2022年度 63.4%) |

今回の保護者の皆様の本アンケートの回答率は約 37%となりました。そのうちの肯定的回答の割合は 77.3%と、昨年度と同等の評価でしたが、8割に満たない評価となりました。結果を真摯に受け止め、改善に向けて取り組んでまいります。「学校はアフターコロナを踏まえて、授業や行事などを参観する機会を適切に計画している」については、高い評価をいただきました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行後は、保護者の皆様に学校の様子を知っていただくために、来校の機会をできる限り確保するよう努めてまいりました。引き続き保護者の皆様と連携しながら、豊かな学校教育活動を展開できるよう取り組んでまいります。今回、上記記載外ですが「学校は災害等の安全面に取り組んでいる。」に対する肯定的回答の割合(73.5%)は、昨年度に比べて8%上昇しました。近年の状況を鑑み、防災教育についても改めて見直し、改善を図ってまいります。

「学校は卒業後の進路について情報を知らせてくれる」は5割ほどの低い評価となりましたが、昨年度の回答と比べると評価が上がりました。今後はさらに、三者面談や学級・学年懇談会等における丁寧な情報提供に努めるとともに、進路だよりを学校ホームページ等のツールを使い広く情報を発信してまいります。また、「学校は子どもの悩みや問題に対し、適切に対応している」は昨年度に比べ評価が下がっています。生徒の調査において「学校は安心して通えるところだ」に対する肯定的回答の割合は約9割(89.7%)であるものの、この結果から、ご家庭とより一層の連携を図り、信頼される学校づくりを進めていくよう努めます。学校が誰にとっても安心・安全な場であるために、引き続き職員一丸となって子どもたちの心身の健やかな成長を適切に支援してまいります。

II 今年度の取り組みと次年度へ向けて

- | | | |
|-----------------|-------------------|------------------|
| 【学校教育目標】 | ○優しく、思いやりのある人となる | ○自ら考え、行動できる人となる |
| | ○周囲と協力できる人となる | ○努力を継続できる人となる |
| 【スローガン】 | 六会中プライド：挨拶・優しさ・努力 | |
| | ○自分も大切、みんなも大切 | ○失敗を恐れずチャレンジ |
| | | ○当たり前を積み重ねて特別になる |

今年度は、学校教育目標の実現を目指し、コロナ禍を経て新たな学びの在り方について試行錯誤しながら教育活動を行ってまいりました。学校教育目標にある「思いやり」に関する項目や、スローガンにある「挨拶」に関する項目は、生徒、保護者ともに肯定的評価が高く、生徒がお互いに関わり合い、協力し合って活動する中で、自分も他者も大切にできる温かな情操が育まれていると考えます。「授業」をはじめ「学校行事」「部活動」に関する項目への生徒の肯定的評価も高く、今後も生徒たちの自己肯定感を醸成していく場の充実に努めてまいります。また、近年は感染症の流行や温暖化の影響による熱中症が問題となっていますが、生徒たちの生命にも関わりがねない一連の対策についても、引き続きガイドラインに沿って適切に対応してまいります。

次年度においても、学校教育目標のより一層の実現を目指して、生徒が主体的に様々なことに安心してチャレンジでき、学校が生徒にとって安全で居心地の良い場であるよう取り組んでまいります。

◎自由記述欄には「学校生活全般」「生徒指導」「部活動」「支援教育」等へのご意見、ご要望等、貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。また、温かい励ましのお言葉もいただき、次年度への励みとなりました。心より感謝申し上げます。頂戴したご意見を真摯に受け止め、職員一同、さらにより良い学校づくりに励んでまいりますので、今後とも本校の教育活動にご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。